会長		担当理事		会計	

日医発第1263号（地578）（健Ⅱ572）F

令和３年３月２６日

郡市区医師会　会長　殿

公益社団法人日本医師会
会長　中　川　俊　男

「新型コロナウイルス感染症の予防接種を安心して受けるために」の送付について

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスワクチンについては、現在、医療従事者向けの接種が行われており、今後、順次、高齢者より住民への接種も開始されます。今後、日常診療において患者およびご家族の方からワクチン接種に関する相談を受ける機会が増えることが想定されます。これに対応していくためには、かかりつけ医として正しい情報をわかりやすく提供していくことが不可欠です。

今般、一般の方にワクチン接種を受けるかどうかを判断する際の参考としてもらえるよう、日本医師会において、別添１のとおり「新型コロナウイルス感染症の予防接種を安心して受けるために」を作成しました。

本冊子はかかりつけ医の先生方が、接種を検討している方にワクチンの効果や副反応に関する説明をされる際に利用していただくことを想定したものです。地域の住民の方々が新型コロナウイルス感染症の予防接種をかかりつけ医のもとで安心して受けてもらえるよう、相談窓口として最後のページに「お問合せ先」を記入していただく欄を設けました。また、本冊子は新しい知見を踏まえて更新することとしており、今後新たに使用できるワクチンが承認された場合は、本冊子を改訂する予定です。活用方法につきましては、別添２をご参照ください。

つきましては、貴会においても本件についてご了知賜りますとともに、貴会管下会員への周知協力方につき、ご高配賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、本冊子のデータについては、かかりつけ医だけでなく一般の方にも活用してもらえるように、下記の日本医師会のホームページにて本冊子の PDF ファイルを提供しておりますので併せてご利用ください。

「医師・医療関係のみなさまへ―新型コロナウイルス感染症―」
▼医療機関用資料等
https://med.or.jp/doctor/kansen/novel_corona/009082.html#a

愛知八潮医師会
収受
3.3.26
第1503号

別添１

新型コロナウイルス感染症の予防接種を安心して受けるために

ワクチンについてわからないことや、高齢者や基礎疾患をお持ちなど、接種に不安がある方は、かかりつけ医や地域の医師会にぜひご相談ください。巻末にお問合せ窓口が記載されています。

2021年3月25日



ワクチン接種について

ワクチン接種についての様々な疑問にお答えします



日医キャラクター「日医君(にちいくん)」

Q1 A なぜワクチンを接種するのですか？

ワクチンの接種により、症状が出ることを防ぎ、重症化するのを予防できることが明らかになっています。最近の研究では、感染自体を防げる可能性も示されています。

Q2 A ワクチンを接種した方が良いですか？

できるだけ多くの方が予防接種することで、感染の拡大を防ぐことができます。予防接種には、「個人を守ること」と「社会を守ること」の二つの役割があります。

日本医師会
Japan Medical Association

Q3 A 接種するワクチンはどのくらい効き目(効果)がありますか？

3週間の間隔で２回接種した場合、２回目の接種から７日目以降において、症状が出ることを防ぐ効果は約95％でした。ワクチンを定められた方法(間隔、回数)で接種した場合の効果は科学的に明らかです。

Q4 A どのように接種するのですか？

上腕の筋肉に注射します。また「コミナティ筋注」(ファイザー社)の場合は3週間の間隔で2回行います。

Q5 A なぜ新型コロナウイルスワクチンは筋肉注射なのですか？

筋肉注射の方がワクチンの成分が素早く吸収されます。筋肉の中は血流が豊富で免疫に関わる細胞も多く存在するため、ワクチンによる免疫を獲得しやすいのです。

Q6 A 筋肉注射は痛くありませんか？

痛みの感じ方には個人差があります。ワクチンに含まれる成分によっても異なります。注射したところの腫れや痛みが、接種後しばらく経ってから出ることもあります。

Q7 A ワクチンの注射で注意することはありますか？

服用している薬の作用によって出血しやすくなっている方や、出血しやすい病気の方は、注意が必要です。薬を服用中の方や治療中の方は、前もってかかりつけ医に確認をしてください。そして、必ず接種前に医師や看護師等に伝えてください。



Q8 A 妊娠中や授乳中の場合はワクチンを接種した方がよいですか？

ワクチン接種対象から除外されてはいませんが、接種する前に必ずかかりつけ医と相談してください。



Q9 A 子供も接種できますか？

現在承認されている「コミナティ筋注」（ファイザー社）の対象は16歳以上の方です。小児に対する接種は、今後検討される見通しです。

Q10 A アレルギーがある場合、ワクチン接種して大丈夫でしょうか？

アレルギーの原因は様々です。特定の原因が疑われる場合は、ワクチンに含まれる成分との関係について、事前に医師に相談してください。ワクチンに含まれる成分以外に対するアレルギーの場合、接種は可能です。

Q11 A 重度のアレルギーの既往歴がある場合はどうなりますか？

まず、かかりつけ医に相談してください。また、接種する医師等が注意深く観察し、必要に応じて速やかに対応を行えるよう、接種前に必ず医師や看護師等に伝えてください。

Q12 A 接種後の体調変化が心配です。

接種後15～30分程度は接種施設で様子をみます。接種直後に、めまい・吐き気・血圧低下などが見られることがあります。また接種した翌日になって、注射した部位の痛み・腫れ、筋肉や関節の痛み、頭痛、疲労、発熱などが見られることがあります。これらは通常、数日以内におさまります。気になる体調変化は、接種を受けた医療機関や自治体の窓口に相談してください。

Q13 A

アナフィラキシーとはどのようなものですか？

アナフィラキシーは、薬や食物が身体に入ってから、短時間で見られる全身性のアレルギー反応です。かゆみ・じんま疹、息苦しさ、腹痛など2つ以上の臓器にわたって症状が見られます。その中でも急激な血圧低下や意識障害を伴う場合を「アナフィラキシーショック」と呼びます。これらはすぐに治療する必要があります。

Q14 A

アナフィラキシーが起こるとすれば、接種後いつでしょうか？

米国の報告では、アナフィラキシーが起こった方の90％が接種後30分以内に症状が現れていました。接種を行う施設では、適切な対応が取れる体制を整えています。

Q15 A

接種施設を出た後に体調変化に気付いたら誰に相談したらよいですか？

安静にして、接種を受けた医療機関または都道府県や市区町村からの案内に記載された相談窓口にご連絡ください。

私たち医師および医療従事者は皆さんが新型コロナウイルス感染症の予防接種を安心・安全に受けられるよう努めます。

医師会

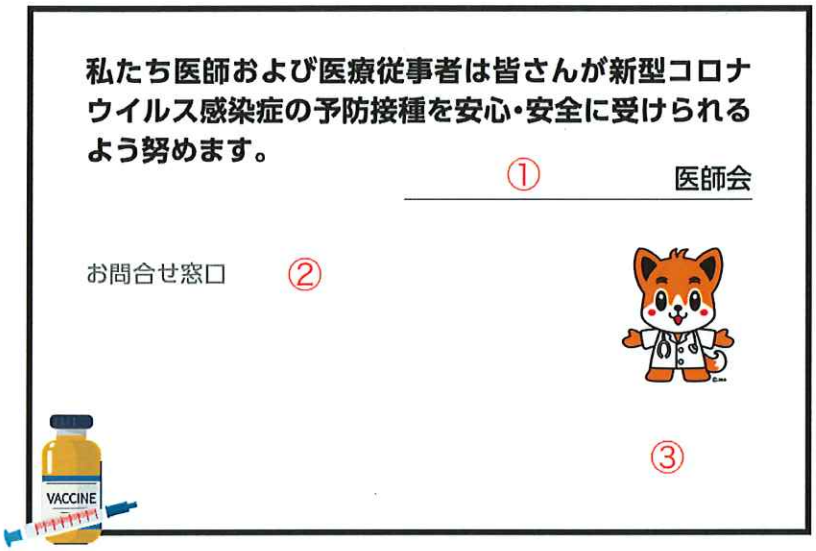
お問合せ窓口



別添２

「新型コロナウイルス感染症の予防接種を安心して受けるために」
自由記載欄　活用例

以下にお示しします方法はほんの一例です。貴会管下医療機関でのご利用方法を、貴会にてお示しいただければ幸いです。



① 所属する医師会名をご記入ください。PDF ファイルの加工機能を用いてテキストを追記することも可能です。「医師会」のフォントはＵＤ新ゴＲ（レギュラー）になっています。

② 本冊子をお持ちの一般の方がワクチンの有効性・安全性について相談することのできる、貴会や自治体が設けている問合せ窓口の名称および連絡先（電話番号、電子メールアドレスなど）をご記入ください。
医療機関で配布される場合には、医療機関の連絡先を併せて記載していただくこともできます。
PDF ファイルを加工される場合「お問合せ窓口」を消して（上書きして）テキストを追記していただくこともできます。

③ 空いている場所は、都道府県版日医君などのイラストや文章を追加してご利用ください。